手すり先行工法 幅木の費用計上促す

ヒューマンエラー モデル工事を試行

国土交通省の建設工事事故対策検討委員会（委員長・山村和也日本大学非常勤講師）は、16年度の事故防止重点対策の結果などを踏まえ、今後の対応方針を固めた。手すり先行工法については、これまでの調査で事故防止の効果を確認。「2段手すり」の設置率は高いものの、「幅木」の全層への設置率が低いことから、今後発注者が適切な費用を計上する必要があるとした。ヒューマンエラー防止対策では、15年度からの検討結果を基に、設備面で対応できる事故防止策について、17年度からモデル工事を試行するよう求めた。国交省は、同検討委員会の方針を踏まえ、今月末までに17年度の事故防止重点対策を作る。

国交省

委員会では、16年度建設工事事故防止重点対策に盛った▽足場墜落事故▽交通事故▽法面墜落事故▽そのほかーの防止対策についての実施状況と効果などを議論。合わせて、15年度から別途進めてきた▽工種別（橋梁工事）事故の防止対策▽建設工事事故に伴う請負者損失調査▽ヒューマンエラー防止の検討ーについても検討した。

足場墜落事故防止では、手すり先行足場を15年度から直轄工事で全面導入。足場からの墜落による死傷者が減少傾向にあるなど、「手すり先行足場による効果が大きいことが分かった」（国交省）。

一方で、足場を使っていると考えられる工事を対象としたアンケート結果では、「2段手すり」の全層への設置率は高いものの、「幅木」（つま先板）の全層への設置率は低かった。地方公共団体の発注では、適切な費用計上が行われていないとの指摘もあり、今後その費用計上を促すことが必要とした。

交通事故防止対策では、デルタクッションや衝撃緩衝装置、電光表示板、回転灯、体感マットなどの性能や効果を分析。その上で、請負業者が導入しやすいコストパフォーマンスに優れた方策が有効との考えを示した。また、17年度は、現場の状況に合わせながら、どのような組み合わせが最も有効かなどを検討するよう求めた。

ヒューマンエラー防止対策では、設備面の対策を施すことで事故を防止する仕組みを検討中。17年度は、非接触型センサーによる危険警告設備などを利用した「重機との接触事故の防止対策」、危険個所への防護策などの設置による「近道・省略行動本能に関する事故防止対策」について、それぞれモデル工事を実施するよう促している。

このほか、法面からの墜落事故防止では、「のり面施工管理技術者」資格の活用に向けたデータ分析や、親綱設備計画・チェックリストの効果的な実施方法の検討を、それぞれ17年度に実施。15年度から調査検討を進めている橋梁工事の事故防止対策については、17年度に日本橋梁建設協会とプレストレスト・コンクリート建設業協会とも連携した追加調査を行い、事故事例集を作成する。

また、建設工事事故に伴う請負者損失調査については、15～16年度で工事事故に伴う直接的・間接的な損失額などの事例を調査。近く、調査結果をリーフレットとして配布し、建設業経営者の安全対策への意識向上につなげることにした。

きょうから「愛知万博」開幕

自然共生の視点に立った環境万博

ゴンドラから日本ゾーンを望む＝長久手会場・風景

「自然の叡智（えいち）」をテーマとした「愛・地球博」（愛知万博）がきょう25日から開幕する。愛知県の長久手町、瀬戸市などを会場に、9月25日までの185日間、世界120カ国、4国際機関が参加し、最新の環境技術を駆使したパビリオンでの展示や多彩なイベントが繰り広げられる。21世紀最初の博覧会となる愛知万博では、冷凍状態のマンモスの展示やロボット実演、多種多様な映像、イベントなど数多い見所があり、誰もが楽しめる施設や工夫が成されている。主催の2005年日本国際博覧会協会は、期間中約1500万人の来場者を目標として掲げている。

愛知万博は、平成9年に愛知県への誘致が博覧会国際事務局（BIE）で決定された。会場予定地の名古屋東部丘陵では、環境の改変を最小限にとどめながら、バリアフリーを実現させるための会場づくりが行われた。各施設にも3R（リデュース、リユース、リサイクル）の考え方の下、廃木材、廃プラスチックなどの再利用など、自然との共生の視点に立った〝環境万博〟としての位置付けを世界に知らしめた。

例えば、長久手日本館の竹ケージ、光触媒、生分解性プラスチックの外壁活用、名古屋市の「大地の塔」での汚泥焼却灰の利用、巨大な緑化壁『バイオ・ラング』、国土交通省中部地方整備局の「水の循環」など、環境技術の粋が集められ、21世紀の建設産業の在り方をも指し示すものとなっている。

このほか、土木工事がもたらす国土づくりの素晴らしさを知ってもらうため国土交通省と日本土木工業協会が共催で行うイベント（8～9月）も予定されている。

かごしまGIS・GPS普及推進研

来月16日、セミナー

かごしまGIS・GPS普及推進研究会は4月16日午後1時から、姶良郡姶良町の鹿児島測量専門学校で第5回セミナー「はじめてのGIS・GPS－簡単！マップで位置表示」を開く。申し込み締切は4月8日。受講料は、会員が2000円、非会員が3000円（参加費・テキスト代含む）。

問い合わせは、かごしまGIS・GPS普及推進研究会事務局（☎099・285・8690）担当・平氏まで。

エコサポートTGAL

来月19日 KES構築講座

NPO法人エコサポートTGAL（久留正成理事長）は4月19日午前10時から、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「中小企業向け環境管理規格KES構築講座」を開く。受講料は1万5000円（資料代含む）、定員は20人。後援は県法人会連合会。

申し込みは、県法人会連合会（FAX099・224・4822）、問い合わせは、エコサポートTGAL（☎・FAX099・218・8837）まで。

天文館本通商店街アーケード

きょう、竣工式

天文館本通商店街振興組合（樋口弘文理事長）はきょう25日午後5時30分から、鹿児島市の天文館本通商店街中心部で同アーケードの竣工式及び祝賀会を行う。

29日に鹿児島市行革推進委

16年度第2回鹿児島市行政改革推進委員会は29日午後2時から、鹿児島市役所東別館で開く。

動きたがらない 相手を 動かす

人を動かそうとするときには、まず一呼吸おいて、相手の立場にたってみることである。そして、どうすれば動くようになるか、ということを考えればよい。学説による「示形の術」の原理である。動かそう、動かそうという意識が先にたってしまうと、このゆとりがなくなり、無理が出てくる。それでは、いたずらに労が多くて、効は少ないということになる。いかに動きたがらない相手でも、動かなければならない、急所というものはある。わが身に置き換えてみれば、この急所が発見できるはずである。

（東京経済編）

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	曇 昼前から晴	北西 やや強く	20％ / 0％
大隅	晴	北西 やや強く	0％ / 0％
種子屋久	曇 夕方から晴	北西 非常に強く	20％ / 10％
奄美	曇 夕方から晴	北西強く	10％ / 10％

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
26	土	後	10%	18° 5°		20%	21° 12°
27	日	後一時	50%	17° 9°		40%	21° 14°
28	月	一時	50%	18° 13°	一時	50%	22° 16°
29	火	時々	20%	17° 9°	時々	30%	20° 15°
30	水	時々	20%	18° 6°	時々	30%	20° 14°

《概況》向こう一週間は、天気は周期的に変わり、期間の中頃に低気圧や前線の影響で雨の降る日がある。

行政動静

3月25日（金）

【県庁】
- 知事……在庁
- 副知事……在庁
- 土木部長……在庁

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
- 所長……庁外
- 柴田副所長……庁外
- 赤星副所長……庁外

【川内川河川事務所】
- 所長……在庁

【大隅河川国道事務所】
- 所長……庁外

【鹿児島港湾・空港整備事務所】
- 所長……庁外

【志布志港湾事務所】
- 所長……在庁

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……在庁

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。